

社会科 3年

## 知識構成型ジグソー学習（6時間）

単元「国の政治の仕組み」

担当 名前 小野智博

### 【活動の目標】

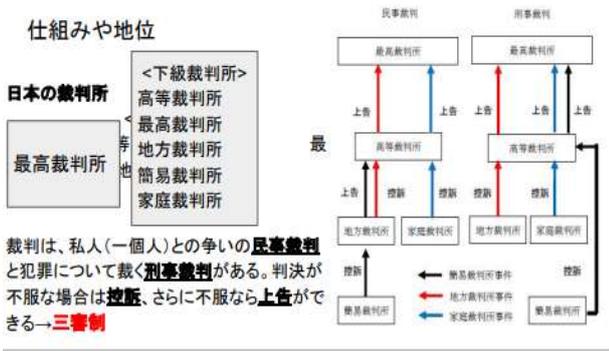
国会、内閣、裁判所の役割や働き、課題などを、ジグソー学習によって専門的に調べた内容を教え合う活動を通して、民主政治の仕組みのあらましや議会制民主主義の意義、公正な裁判の保障についての理解を深めることができる。

### 【単元計画】

単元を貫くめあて「日本の現状をふまえ、教科書にはないリアル三権分立図をつくろう」

次	学習内容	
1	各班で「国会」「内閣」「裁判所」について調査する担当をそれぞれ決定する。決定後、教科書やCBを使用して調べ学習を行いレポート（ドキュメントファイルA41枚以内）を作成する（B2 調査活動）。（問いの工夫Ⅰ）【従来はPC室にて調べた内容を、手書きで「〇〇新聞」を作成】	
2	各自のレポートをもとにエキスパート学習を行う。内容の交流と班やクラスへの説明についての手法を話し合い、プレゼン資料（スライド）「仕組みや地位」、「役割や働き」、「深い学び」、「考察」を作成する（C3 協働制作）。【従来はA3用紙に手書きで各項目についてまとめる】	
3	班でジグソー学習を行い、作成したスライドを発表する。班員は国会、内閣、裁判所の発表を聞いたのち、それぞれについての質問を付箋に書き、担当者に渡す。（C1 発表や話し合い）	
4	質問の付箋をもとに再度エキスパート学習を行い、資料を再構成する（スライドをブラッシュアップ）。（問いの工夫Ⅱ）（C3 協働制作）	
5	エキスパート班でスライドを利用して、再構成した資料の説明を全体に行う。（C1 発表や話し合い） 【従来は手書きのものを実物投影機で投射し発表する】 全班的発表後に、評価規準に基づいた合計得点の最も高かった班をグループフォームで投票し、結果を発表する。	
6	プレゼン資料と教科書をもとに「リアル三権分立図」を個人→班で作成し、発表を行う。	

【資料】生徒が作成したレポート



【ICT 機器を活用する良さ】

- インターネットを使用した調査活動とレポートの作成が同時進行で可能 (効率的)。
- レポートやスライドの共有が簡単にできる。
- レポートを基にしたスライド制作ができる。
- 分業による協働制作が簡単にできる。
- 発表するための準備時間が短い分かりやすい。
- スライドの再構成が簡単にできる。

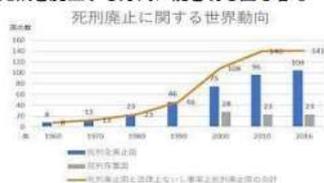
【改善すべき点と原因および改善案】

- ・生徒が作成したスライドをクラウドに上手く保存でき、全体への共有ができないことがあった。  
⇒個人で作成保存したスライドを班で共有した後に、クラウドに保存する作業が上手くいかないことがある。
- ⇒最初からクラウド内でスライドを作らせる。

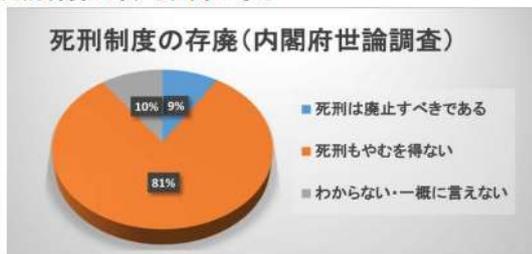
自由課題

・死刑制度はなんのためにあるのか、必要か

死刑制度は、再犯の防止、犯罪への抑止力、被害者・遺族の報復を防ぐためにあるとされている。世界では死刑を廃止する方向に舵を切る国も増えている。



・死刑制度に対する世間の考え



・死刑制度の廃止

- ・冤罪の可能性をゼロにできない
- ・抑止効果のはっきりとした根拠はない。
- ・国家が命を奪うことは、主権である私達が処刑に加担していることになる

